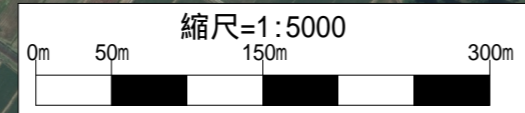
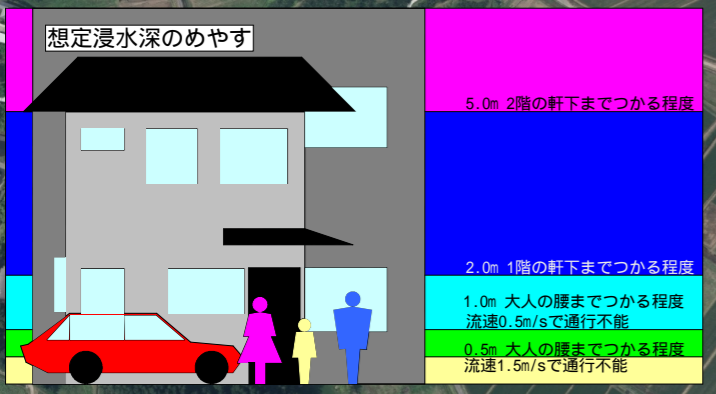


鬼久保ため池 氾濫区域想定図

この図の見方について
 この図は、ため池の堤体が決壊した場合、総貯水量23,000m³と洪水量がどのような経路を経て流下していくかを、国土地理院発表の基礎地図情報(数値標高モデル)5mメッシュを元に解析し、図化したものです。
 満水状態のため池が決壊し、貯えられた水と洪水量が一度に流れ出てくるような場合を想定しています。
 図化されている洪水想定区域は、仮定に基づき予測した結果であり、不確実性を有しています。

- 凡例**
- 避難所
 - 避難所 (建物アイコン)
 - その他の施設 (ピンクドット)
 - 最大水深(1時間後まで)
 - 0.0m超～0.5m未満 (黄色)
 - 0.5m以上～1.0m未満 (緑)
 - 1.0m以上～2.0m未満 (青)
 - 2.0m以上～5.0m未満 (濃青)
 - 5.0m以上 (紫)
 - 流速
 - 0.5m/sを越える (点線)
 - 1.5m/sを越える (点線+点)
 - 到達時間
 - 5分後 (赤)
 - 10分後 (黄)
 - 20分後 (緑)
 - 30分後 (青)
 - 外郭線は1時間後 (黒)



諸元 総貯水量: 23,000m³
 流域面積: 0.074km²
 堤高: 3.4m
 堤長: 40.0m

